



■特集

善光寺二世中興 大圓武志大和尚 十七回忌法要

善光寺二世中興大圓武志大和尚の十七回忌法要
が令和二年十一月八日午後二時から、焼香師に第
五教区長・倫勝寺ご住職馬場義實老師をお迎えし
釈迦殿で営まれました。

コロナ禍の現状を踏まえ当初の予定より規模を
縮小し、感染拡大防止対策をとりながらの法要と
なりました。



倫勝寺 馬場義實老師



倫勝寺様は、先代ご住職様（馬場道男老師）と善光寺先代が同級生（三心会）の間柄。また現在、馬場老師は善光寺の所属している曹洞宗神奈川県第二宗務所第五教区教区長をお勤めになられていること等のご縁から焼香師をお勤め頂きました。法要後のご挨拶でも先代住職の姿やお声が浮かんでくるようなお話を頂きました。

次いで檀家総代を代表して山口義男護持会会長のご挨拶。

最後に博志住職から、昨年より計画をしていたこの法要について、コロナ禍の状況下で行っても良いものかを各方面と相談し、悩みに悩んだ心境を吐露し、「それでもこのように法要を営むことが出来ました事、皆さま方のお陰です。衷心より篤く篤く感謝申し上げます」と謝辞を述べられました。



観音寺 黒田法正老師

釈迦殿での法要後、一同は小高い丘陵の上にある歴住墓を参拝。観音寺ご住職黒田法正老師ご導師のもと詣塔諷経が執り行われました。

博志住職の従兄でもある黒田法正老師は、祖母黒田嘉様の着物を使って御母堂が縫われたお袈裟を着けられて法要に臨まれました。

法語で「気清志高圓法縁」と先代を偲び、「師学相承報恩道」と博志方丈が先代に学び相承している姿を表現されました。日頃より共に檀務をお勤め頂いている法類の法正老師ならではのご導師をお勤め頂きました。

三密を防ぐなど感染症予防対策を行う意味でお斎の席は設けずにお弁当をお渡し、観音堂の観音様をお参りされての散会となりました。